

## 「進路実現への道」

【株式会社 中日新聞社】

会計ビジネス科 女子

私は進路実現にあたって、「苦しいことの先に道は開ける」ということを改めて実感しました。特にそれを強く感じたのは、部活動での経験です。私は、商業高校でしか身につけることのできない知識を学びたいと考え、簿記を学ぶことのできる部活動に入部しました。なかなか思い通りにいかないこともありましたが、仲間や先生方の支えがあったからこそ、引退まで諦めずに頑張ることができました。大会に向けた練習や副部長としての役割を担うなど、さまざまな経験をするなかで自分に自信を持てるスキルを身につけることができました。また、周囲を見て行動する力も養われ、行動面においても大きく成長することができたと感じています。この部活動での努力は、進路実現の場面でも大いに役立ちました。面接本番では非常に緊張していましたが、これまでの経験や身につけたスキルを胸に、自信を持って試験に臨むことができ、無事に内定をいただくことができました。また、就職選考会では、部活動で得たポイントの加点のおかげで、早い段階で受験する企業を選ぶことができました。これらの経験を振り返ると、「苦しいことの先に道は開ける」という言葉は本当にその通りだと思えます。私は、決して楽しいことだけでなく、苦しいこともあった部活動の日々の先に企業内定という結果が待っていました。

何事も真剣に、ひたむきに努力し続ければ、必ずいつか自分に返ってくると思います。私自身、今回の就職試験で強く実感させられました。辛いこともあると思いますが、目標に向かって最後まで諦めずに頑張ってください。皆さんの進路実現を、心から応援しています。

## 「三年間で身に着けた力」

【中部電力パワーグリッド株式会社】

グローバルビジネス科 女子

私には愛知商業高校に入学するにあたって目標にしていたことがありました。それは部活と勉強の両立です。中学校3年間ではバスケットボールに一生懸命になりすぎ、勉強が疎かになっていました。そのため成績がよくありませんでした。高校を卒業すると人生を大きく左右する選択をしなければなりません。就職と進学、どちらを選択しても後悔することがないように取り組みたいと考えていました。

高校に入学し、希望通りバスケットボール部に所属しました。週に6日間練習があり、朝早くから夜遅くまで中学校とは比べ物にならないほどの練習量をこなし、疲れてヘトヘトになる毎日を送りました。そのため家に帰ってきてからはご飯を食べて、お風呂に入り、寝る生活の繰り返しで勉強はほとんどできていませんでした。私は部活で忙しい生活を送りながら2つのことを意識していました。1つ目は隙間時間を活用することです。通学時間や授業の間の放課時間を活用するなどして小テストの勉強やテスト勉強をしていました。2つ目は計画を立てることです。「この日にこの教科をやる」と全て具体的に計画を立て、提出課題やテスト勉強を行っていました。この2つのことを意識することで、自分が何をすべきなのか優先順位が明確となり、無駄なく効率的に勉強を進めることができました。その結果、納得のいく成績を3年間維持することができ、第一希望の就職先の内定をいただくことができました。

この力は、社会人になってからも生かせると思います。業務には締め切りがあり、複数の仕事を同時に進める必要があります。優先順位を決め時間を上手く活用しながら計画的に行動し、会社に貢献できるように頑張りたいです。

## 「苦手から自信へ」

【株式会社東海理化電機製作所】

ITビジネス科 女子

私は中学生のころ、人前に立って話すことが苦手で、失敗を恐れて新しいことに一歩踏み出せないことが多い人でした。それを克服したいと思い、高校の部活動ではユネスコクラブに入部しました。

部活動では商品開発や販売活動、プレゼンテーションなどを行いました。初めはやはり上手く話すことができず、何度も諦めたくなりました。しかし、高校で何か1つは最後まで成し遂げたいと思い、粘り強く続けました。その結果、プレゼンテーションの大会では2年連続全国大会で優秀賞をいただくことができました。このことは私にとって大きな自信につながり、今では人前に立っても自信をもって話すことができるようになりました。努力が結果として形になったことは、大きな達成感と自信を与えてくれました。

そして就職試験の面接では、以前の自分では考えられないほど落ち着いて挑むことができ、緊張することなく、練習してきたことを自信をもって伝えることができました。高校での挑戦の積み重ねが、今の自分を支えていると実感しています。

これらの経験を通して、苦手なことに挑戦することの大切さと、努力を積み重ねることで自分は変われるということを実感しました。苦手だったことに向き合い続けた高校生活は、自信をもって自分を表現できた今の自分につながっています。今後も、この経験で得た自信と粘り強さを大切に、様々なことに前向きに取り組んでいきたいです。社会に出てからも、自分らしく成長し続けられる人でありたいです。

## 「選択」

【社会保険診療報酬支払基金】

会計ビジネス科 女子

皆さんは、日常の中でどれくらい「選択」を意識して生活していますか？今行動するか明日の自分に任せるか。私たちは毎日、数えきれないほどの選択を重ねながら生活しています。

私がこの「選択」を意識するようになったのは、中学生の頃、私は面倒なことを後回しにする選択を繰り返し、思うように成長できなかった経験があったからです。高校に進学してからも、何も考えずに過ごしていれば同じ結果になるのではないかと感じ、自分の行動を見直すようになりました。そこで私は、「昨日よりちょっといい自分になる」ということを意識して、日々の小さな選択を大切にしようにしました。課題に対しても、やらないという選択ではなく、少しでも取り組むという選択をする。完璧でなくても、一歩踏み出すことを意識しました。その積み重ねが自分に自信を与え、前向きに行動する力につながっていきました。

また、進路実現のためには、いかに早く準備に取り組むことができるかがとても重要です。私は、自分の進路と向き合い、「今できることから始める」という選択を重ねたことで、落ち着いて準備を進めることができました。そして、無事に内定をいただくことができました。

人は一日に約三万五千回もの選択や決断をしていると言われていています。その一つ一つは小さなものかもしれませんが、自分の選択次第で成長できるチャンスは何度もあります。皆さんもぜひ、「昨日よりちょっといい自分になる」ことを意識しながら、日常の選択を大切にしてみてください。きっとその積み重ねが、将来の自分のためになっているはずです。

## 「学びから見つけた進路」

【東海旅客鉄道株式会社】

ITビジネス科 男子

私はIT分野への学習に興味があり、ITビジネス科で2年間学んでいました。しかし、身近な出来事をきっかけに進路への考え方が変わり、最終的に鉄道業界への就職を決めました。この経験から、視野を広げることの大切さを学びました。

高校入学当初は鉄道業界に興味があったわけではなく、ITビジネス科で学んだ知識を生かし、将来はIT企業に就職したいと考えていました。しかし、日常的に利用していたJRをきっかけに、鉄道業界の仕事や社会に与える影響の大きさに興味を持つようになりました。調べていく中で、鉄道業界にもITの知識が活用されていることを知り、自分の学びが活かせる分野だと感じるようになりました。鉄道業界で働くことができるよう、夏休みから本格的に業界や会社の研究を行い、その結果、JR東海のほうから内定をいただくことができました。

この経験から、進路は最初に描いていたものだけで決まるとは限らないということを実感しました。日常の中での些細なきっかけが、自分の将来を大きく変えることもあります。ぜひ一つの分野にこだわりすぎず、様々なことに興味を持ち、積極的に挑戦してみてください。視野を広げることで、自分や周りの人でも気づかなかった可能性や新たな進路が見えてくるはずだと思います。不安になることもたくさんあると思いますが、自分を信じて一生懸命頑張ってみてください。

## 「支え合いの三年間」

【トヨタ自動車株式会社】

グローバルビジネス科 女子

私は入学当初、高校卒業後の進路が決まっておらず、不安な気持ちを抱えながら高校生活をスタートしました。将来について明確な目標もなく、まずは目の前のことに全力で取り組もうと考えていました。授業や学校生活を通して、挨拶や礼儀、時間を守ることなど、社会に出る上で大切な基本を学び、少しずつ働くことへの意識が高まってきました。

テニス部では、仲間と共に練習を重ね、思うような結果が出ず悔しい思いをすることもありました。特に、努力しても勝てず悔し涙を流した試合は、簡単には諦めない心を身につけるきっかけとなりました。それでも、苦しい時に声を掛け合い、励まし合いながら努力を続けた経験は、私にとって大きな成長につながりました。放課後や試合前に交わした何気ない会話や、友達からの一言が心の支えとなり、最後まで頑張る力を与えてくれました。進路活動が始まり、トヨタ自動車への就職を目指す中で、筆記試験の問題集に繰り返し取り組み、分からない問題も何度も解き直しました。面接練習では自分の思いをうまく言葉にできず悩むことも多くありましたが、先生方の温かいご指導や家族、友達の応援があったからこそ、前向きな気持ちで挑戦し続けることができました。試験当日は、これまで支えてくれたすべての人への感謝の気持ちを胸に、自分の長所である笑顔を大切に臨みました。内定をいただいたときは、これまでの努力が報われたと感じ、大きな喜びと感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

これから進路に悩む後輩の皆さんには、結果を恐れず、今できることに全力で取り組んでほしいと思います。努力は必ず自分の力になります。自分を信じて、一歩ずつ前に進んでください。

## 「行動と準備の大切さ」

### 【名古屋市消防局】

グローバルビジネス科 男子

私は名古屋市消防局の合格を目指し努力を重ねてきました。まず行ったのが体力トレーニングです。消防士に必要な体力は一隻一兆に身につくものではないと考え、毎日のランニングや筋力トレーニングを習慣化しました。特に腹筋、腕立て伏せそして苦手だった持久力トレーニングにも力を注ぎました。そうしたトレーニングをやっていく中で自分の課題を見つけることができ、それを克服する過程は自分の目標に向かう姿勢そのものを鍛えてくれました。

筆記試験の対策では専門学校へ自分で応募し夏休みの間に実施される対策講座を受け、そこで貰った過去問題集などを活用し、解けなかった問題をできるまで復習しました。特に、毎年出ているという範囲は、様々な種類の問題を解いて確実にできるように毎日どんなに疲れていても机に向かうことを心がけて試験当日まで過ごしていました。さらに時事問題や社会問題にも目を向け新聞やニュースを見ることで幅広い知識を身に付けることができました。

2次試験で実施される面接試験対策として先生方に面接練習の相手をしていただき、本番に向けて様々なパターンの質疑応答を想定し、実践しました。面接練習はとても大切です。名古屋市消防局が求めている人物像を想定し、災害現場で求められる行動力、協調性を実際にどの程度発揮できるかを面接官にアピールすることを心がけました。日ごろからのコミュニケーションを大切にして相手からの言葉を丁寧に聞く姿勢を意識することで面接でも落ち着いてやることができました。

知識、体力、心構えの全てを磨くことは一筋縄ではいきませんが、「名古屋市の安全を守りたい」という思いが支えになり、最後まで走り抜くことができました。この積み重ねが合格に繋がりました。皆さんも目標に向かって行動を起こし準備を欠かさず目標に向かって頑張ってください。